

2025年度 総合型選抜 募集要項

大正大学 総合型選抜について	1頁
(1) 大正大学の教育ビジョン「4つの人となる」	1頁
(2) 大正大学 総合型選抜アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)	1頁
(3) 審査について	2頁
(4) 総合型選抜の審査と入学準備学習について	2頁
総合型選抜の流れ — 出願から入学準備学習まで —	3頁
出願資格・募集人員	4頁
審査課題について（学科・専攻・コース別課題）	5～20頁
出願書類一覧	21頁
出願等に関する注意事項	22頁
第二次審査に関する注意事項	22頁
受験票について	23頁
合格発表について	23頁
入学手続について	24頁
入学準備学習について	25頁
感染症に関する注意事項	25頁
奨学金について（2024年度参考）	26頁
オープンキャンパス	26頁
ネット出願の流れ	27頁
検定料のお支払い方法	28頁
試験会場案内	29頁



大正大学 総合型選抜について

(1) 大正大学の教育ビジョン「4つの人となる」

本学は、仏教の思想を建学の精神として設立され、人間の福祉や社会に貢献する人材を育成する大学です。

予測不能なこれからの社会において、本学は、その時代を強く生き抜く力を持った人間を育てるための教育ビジョン「4つの人となる」を策定し、社会からの期待や要望にも目をむけた教育活動に取り組んでいます。

大正大学の教育ビジョン「4つの人となる」

- ①「慈悲」生きとし生けるものに親愛のこころを持てる人となる
- ②「自灯明」真実を探究し、自らを頼りとして生きられる人となる
- ③「中道」とらわれない心を育て、正しい生き方ができる人となる
- ④「共生」共に生き、ともに目標達成の努力ができる人となる

(2) 大正大学 総合型選抜アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学の教育ビジョンと志望学科・専攻・コースの教育内容を理解し、自らのこれまでの様々な活動を踏まえ、入学後の明確な目的意識と将来ビジョンを持ち、積極的な姿勢で大学での学習に取り組む人を求めます。また、出願資格に全体の学習成績の状況を定めること、そして高等学校調査書を審査要件とすることで、高等学校での教科力の証明とします。

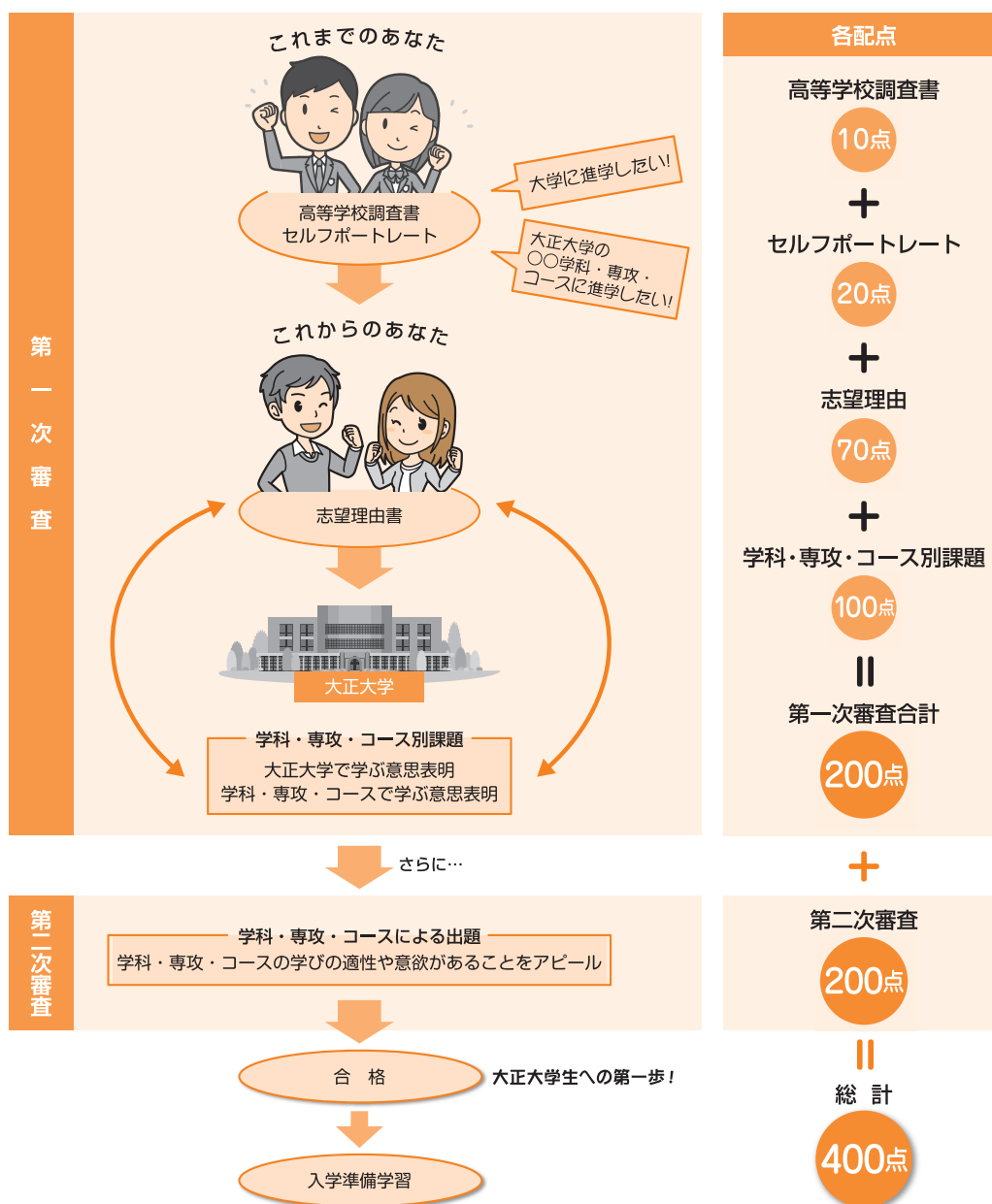
第一次審査では、出願書類を通して受験生がこれまで様々な事象から得た経験・実績と、それを通して考えた、これからの大学での学びに向けた計画を確認し、同時に大正大学での学びに対する意思・意欲をはかります。第二次審査では、各学科・専攻・コース毎に定めた選抜方法でそれぞれの学びに必要な資質をはかり、第一次審査と第二次審査の結果で総合的に評価します。

※大正大学全体および各学科・専攻・コースの3つのポリシー【**ディプロマ・ポリシー**（卒業認定・学位授与の方針）、**カリキュラム・ポリシー**（教育課程編成・実施の方針）、**アドミッション・ポリシー**（入学者受入れの方針）】については、以下のURL（QRコード）を参照してください。

<https://www.tais.ac.jp/faculty/tais-policy/>



(3) 審査について



(4) 総合型選抜の審査と入学準備学習について

大正大学は、総合型選抜出願者に対して、公平で厳密な審査を約束します。書類審査となる「第一次審査」では、あなたが作成した書類を通して、あなたの「これまで」の経験・実績と「これから」に向けた計画を確認し、同時に大正大学での学びの意思・意欲をはかります。

審査には大正大学に所属する教職員で当たり、十分な時間を掛けた選考を行います。

あなたが大正大学に来て行われる「第二次審査」では、あなたが志望する学科・専攻・コースが求める資質をはかるための審査課題を通して、あなたと大学が求めあうものが一致することを確認します。

入学準備学習は、大学での学習に対する約束といえます。提示された課題に対してあなたが精一杯に取り組み、大学は丁寧な添削指導・アドバイスを行うことで、双方の約束が成り立ちます。高等学校での学習と入学準備学習により、大学での教育を価値あるものとするための基礎学力を十分に身に付けるよう努めることを約束してください。

総合型選抜の流れ —出願から入学準備学習まで—

① 出 願 期 間

2024年9月24日(火)～10月2日(水)【郵送必着】
Web登録締切日：10月1日(火) 16時

※出願の流れは、27～28頁をご参照ください。

② オンライン受験票 の 発 行 期 間

2024年10月8日(火) 9時～ ※23頁参照

※お早目の取得をお願いします。

③ 第 一 次 審 査

書類審査

④ 第 一 次 審 査 合 格 発 表

2024年10月18日(金) 14時～

オンライン合格発表

⑤ 第 二 次 審 査

2024年10月26日(土) 大正大学巣鴨校舎にて実施
集合時間 9時20分(8時30分開門)
試験開始 10時～

⑥ 最 終 合 格 発 表

2024年11月1日(金) 14時～

オンライン合格発表

⑦ 入 学 手 続 締 切 日

2024年11月11日(月)【消印有効】
Web登録締切日：11月11日(月) 16時

⑧ 入 学 準 備 学 習

入学手続後、3月まで実施します

※今後、文部科学省等の要請があった場合、入試日程・入試方式が変更となる可能性があります。
その場合、ホームページ等で公表いたしますので、ご確認ください。

出願資格・募集人員

■出願資格

下記の条件をすべて満たす者

1. 本学を専願（第一志望）とする者
2. 本学の教育内容を十分に理解した上で、出願志望の学科・専攻・コースで学ぶことを強く希望する者
3. アドミッションポリシーを理解し、合格後の入学準備学習に意欲的に取り組む意志のある者
4. 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および2025年3月卒業見込の者
※日本国籍を有する者で、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、および2024年4月より2025年3月までに修了、または修了見込の者を含む
5. 全体の学習成績の状況が3.0以上の者。2025年3月卒業見込の者は、最終学年1学期（2期制の場合は前期、前期の成績を記載できない2学期制の高等学校の場合には、その旨が調査書備考欄に記載されていること）までの全体の学習成績の状況が3.0以上の者

身体等に障がいのある受験生は、出願期間開始の1カ月前までにアドミッションセンターにご相談ください。

■募集人員

大正大学の総合型選抜は、学科・専攻・コース別に募集を行っています。したがって、各学科・専攻・コースの教育内容を理解して出願することが重要です。出願に当たっては、5頁～20頁の各学科・専攻・コースの「審査課題について」をよく読み、自分自身の学びたい学科・専攻・コースを選んで出願してください。

学 部	学 科	専攻・コース	募集人員
仏 教 学 部	仏 教 学 科	仏 教 学	3
		仏 教 文 化 遺 産	
		宗 学	
文 学 部	日 本 文 学 科	—	10
	人 文 学 科	哲学・宗教文化	8
		国 際 文 化	
	歴 史 学 科	日 本 史	15
		東 洋 史	
		文化財・考古学	
表 現 学 部	表 現 文 化 学 科	ラ イ フ デ ザ イ ン	10
		ク リ エ イ テ ィ ブ ラ イ テ ィ ン グ	
		情 報 文 化 デ ザ イ ン	
	メ デ ィ ア 表 現 学 科	放 送 ・ 映 像 メ デ ィ ア	16
		ア ー ト & エ ン タ ー テ イ ン メ ン ト ワ ー ク	
人 間 学 部	人 間 科 学 科	—	10
	社 会 福 祉 学 科	—	10
臨 床 心 理 学 部	臨 床 心 理 学 科	—	10
地 域 創 生 学 部	地 域 創 生 学 科	—	10
	公 共 政 策 学 科	—	13
計			115

審査課題について（学科・専攻・コース別課題）

仏教学科 仏教学専攻

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① 模擬授業（90分）評価は受講態度と小レポートで行う。

前半：教員による授業

後半：小レポート作成

② 個別面接

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	仏教学科AP	仏教学専攻	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 高等学校での教育課程において学習した科目のうち、とくに仏教学科の学び（仏教学・仏教文化遺産・宗学）に必要な国語・地理歴史・外国語等について基礎的な知識・技能を修得している。	●学科・専攻・コース別課題により、仏教学専攻で学ぶために必要な基礎的な知識、語彙力、表現力を有しているかを評価します。	●模擬授業と小レポート、そして、個別面接において、仏教学を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを評価します。
思考・判断・表現	② ものごとを論理的に説明することができる。 ③ 興味や関心のある事柄を、自らの言葉と視点で説明することができる。	●学科・専攻・コース別課題により、テーマについて自身の考えを明確な文章で表現できるか、仏教学に必要な理解力、分析力、思考力を有しているかを評価します。	●模擬授業と小レポートにより、情報を把握・分析する力、論理的に思考する力、自分の考えを表現する力を評価します。
関心・意欲・態度	④ 仏教学科の学びに関連する事象に深い関心を持っている。 ⑤ 新たな知識や他者の意見に触れることを喜びと感じ、多様な価値観を認め、自らの思索を深めていこうとする、開かれた姿勢をもっている。 ⑥ 社会のさまざまな事象を自らに関わる問題として捉え、自身の学びを地域や社会に活かし、他者とともに積極的に解決していこうとする意欲をもっている。	●学科・専攻・コース別課題により、仏教の事柄や人物に関心を有し、意欲的にその理解を深め、自分や社会と結びつけて発展的な考察につなげられるかを評価します。	●模擬授業と個別面接により、他者の話や意見を十分に理解し、多面的な視野にもとづくコミュニケーションをとることができるか、また、地域や社会に積極的に関わろうとする姿勢・態度がみられるかを判断します。

こんなあなたに学んでほしい

- 仏教に興味があり、専攻の学修に必要な基礎学力を有している人
- 高い学修意欲があり、問題意識をもって主体的に学ぶ姿勢のある人
- 論理的に思考し、自身の考えを表現できる人
- 仏教の精神を自分のものにして、地域や社会に貢献したい人
- 仏教の思想や文化を深く追求したい人

仏教学科 仏教文化遺産専攻

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① 模擬授業（90分）評価は受講態度と小レポートで行う。

前半：教員による授業

後半：小レポート作成

② 個別面接

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	仏教学科AP	仏教文化遺産専攻	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 高等学校での教育課程において学習した科目のうち、とくに仏教学科の学び（仏教学・仏教文化遺産・宗学）に必要な国語・地理歴史・外国語等について基礎的な知識・技能を修得している。	●学科・専攻・コース別課題により、仏教文化遺産専攻で学ぶために必要な基礎的な知識、語彙力、表現力を有しているかを評価します。	●模擬授業と小レポート、そして、個別面接において、仏教文化遺産専攻における学びに必要な基礎学力を有しているかを評価します。
思考・判断・表現	② ものごとを論理的に説明することができる。 ③ 興味や関心のある事柄を、自らの言葉と視点で説明することができる。	●学科・専攻・コース別課題により、テーマについて自身の考えを明確な文章で表現できるか、仏教文化遺産に対する必要な理解力、分析力、思考力を有しているかを評価します。	●模擬授業と小レポートにより、情報を把握・分析する力、論理的に思考する力、自分の考えを表現する力を評価します。
関心・意欲・態度	④ 仏教学科の学びに関連する事象に深い関心を持っている。 ⑤ 新たな知識や他者の意見に触れることを喜びと感じ、多様な価値観を認め、自らの思索を深めていこうとする、開かれた姿勢をもっている。 ⑥ 社会のさまざまな事象を自らに関わる問題として捉え、自身の学びを地域や社会に活かし、他者とともに積極的に解決していこうとする意欲をもっている。	●学科・専攻・コース別課題により、仏教文化遺産に関わる事柄や人物に関心を有し、意欲的にその理解を深め、自分や社会と結びつけて発展的な考察につなげられるかを評価します。	●模擬授業と個別面接により、他者の話や意見を十分に理解し、多面的な視野にもとづくコミュニケーションをとることができるか、また、地域や社会に積極的に関わろうとする姿勢・態度がみられるかを判断します。

こんなあなたに学んでほしい

- 仏教に興味があり、専攻の学修に必要な基礎学力を有している人
- 高い学修意欲があり、問題意識をもって主体的に学ぶ姿勢のある人
- 論理的に思考し、自身の考えを表現できる人
- 仏教文化・美術史学・文化財学など幅広い専門分野を学びたい人
- 仏教を文化的な側面から学びたい人

仏教学科 宗学専攻

※主に宗門子弟で、僧侶を目指す人向けのコースです。

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① 模擬授業（90分）評価は受講態度と小レポートで行う。

前半：教員による授業

後半：小レポート作成

② 個別面接

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	仏教学科AP	宗学専攻	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 高等学校での教育課程において学習した科目のうち、とくに仏教学科の学び（仏教学・仏教文化遺産・宗学）に必要な国語・地理歴史・外国語等について基礎的な知識・技能を修得している。	●学科・専攻・コース別課題により、各宗派の教理や歴史を学ぶために必要な基礎的な知識、語彙力、表現力を有しているかを評価します。	●模擬授業と小レポート、そして、個別面接において、宗学を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを評価します。
思考・判断・表現	② ものごとを論理的に説明することができる。 ③ 興味や関心のある事柄を、自らの言葉と視点で説明することができる。	●学科・専攻・コース別課題により、テーマについて自身の考えを明確な文章で表現できるか、宗派の教理や歴史を学ぶための理解力、分析力、思考力を有しているかを評価します。	●模擬授業と小レポートにより、情報を把握・分析する力、論理的に思考する力、自分の考えを表現する力を評価します。
関心・意欲・態度	④ 仏教学科の学びに関連する事象に深い関心を持っている。 ⑤ 新たな知識や他者の意見に触れることを喜びと感じ、多様な価値観を認め、自らの思索を深めていこうとする、開かれた姿勢をもっている。 ⑥ 社会のさまざまな事象を自らに関わる問題として捉え、自身の学びを地域や社会に活かし、他者とともに積極的に解決していこうとする意欲をもっている。	●学科・専攻・コース別課題により、仏教や宗派の事柄や人物に関心を有し、意欲的にその理解を深め、自分と寺院との関わり、ないし自分と地域や社会との結びつきについて発展的に考察できるかを評価します。	●模擬授業と個別面接により、他者の話や意見を十分に理解し、多面的な視野にもとづくコミュニケーションをとることができるか、また、地域や社会に積極的に関わろうとする姿勢・態度がみられるかを判断します。

こんなあなたに学んでほしい

- 天台宗、真言宗豊山派、真言宗智山派、浄土宗、時宗のいずれかに所属する僧侶を目指す人
- 自身の所属する宗派の教理・歴史を学ぶうえで、必要な基礎学力を有している人
- 高い学修意欲があり、問題意識をもって主体的に学ぶ姿勢のある人
- 論理的に思考し、自身の考えを表現できる人
- 仏教の精神を自分のものにして、地域や社会に貢献したい人

日本文学科

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① プレゼンテーション・面接（10分程度）

第一次審査提出の「学科・専攻・コース別課題」をもとに、個別にプレゼンテーション（3分程度）とその内容および提出書類に基づいた面接を行う。

② グループ面接（1グループ3～4名、各15分程度）

「学科・専攻・コース別課題」についての質疑応答、ミニプレゼンテーション、ディスカッションなどをする。

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	日本文学科AP	試験科目	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 国語、地理歴史、公民、外国語について高等学校卒業相当の知識と技能を有している。特に国語について十分な知識と読解力を有している。	● 学科・専攻・コース別課題で、日本文学・日本語について関心を持った分野に関する知識を有しているかを評価します。 ● 学科・専攻・コース別課題で、日本文学・日本語学の書籍を読解する力を評価します。	● プレゼンテーション・面接で、日本文学・日本語について関心を持った分野に関する知識を有しているかを評価します。 ● プレゼンテーション・面接で、日本文学・日本語学の書籍を読解する力を評価します。
思考・判断・表現	② 問題意識を持ち、その問題解決のために、他者の意見を聞きながら、物事を順序立てて考え、書き、話すことができる。	● 学科・専攻・コース別課題に対して、多角的な視点で物事を調べたり、情報を整理したりすることができるかを評価します。 ● 学科・専攻・コース別課題で、自分の考えを論理的に書き、伝えることができるかを評価します。	● プレゼンテーション・面接で、自分の考えを論理的に話し、伝えることができるかを評価します。 ● 面接で、質問されたことに対して的確に回答することができるかを評価します。
関心・意欲・態度	③ 異文化や異質な存在を謙虚に理解し尊重する態度を身につけようとする意欲を持っている。 ④ 日本文学・日本語・日本文化にかかわる様々な問題に対して深い関心を持っている。 ⑤ 学びを通して自己を研鑽し、地域や社会に積極的に関わっていこうとする意欲を持っている。 ⑥ グループワークに積極的に参加する意欲を持っている。	● 学科・専攻・コース別課題で、日本文学・日本語について、深い関心を持つことができるかを評価します。 ● 学科・専攻・コース別課題を楽しみ、かつ積極的に取りくむことができるかを評価します。	● 面接で、他者の意見に耳を傾けようとする意欲を持つことができるかを評価します。 ● プレゼンテーション・面接で、自分の考えを積極的に話し、伝えようとする意欲を持つことができるかを評価します。 ● 面接において、その場にふさわしい受け答えができるかを評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 国語を中心とした日本文化に関連する科目で一定以上の学力を有し、読書経験が豊富である人
- 日本文学・日本語学・日本文化に関わる様々な問題に対して、深い関心と学びの意欲を持っている人
- 物事を順序立てて考え、その内容を話す・書くことによって伝えることができる人
- 学習の場における討議や活動に積極的に参加する意欲を持っている人
- 異文化を理解し、地域社会や国際社会に参加していく意欲を持っている人
- 国語科教員、日本語教師、学芸員など、日本文学・日本語学のエキスパートを目指す人

人文学科 哲学・宗教文化コース

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① 授業レポート〔授業に基づく論述〕（40分授業、40分論述）

授業を受講し（授業中にメモをとってもよい）、授業で考えたことをもとに、論述する（800字、40分間）。

② 個別面接

学修への意欲・関心、哲学・宗教文化コースの学びへの適性、適切な表現を用いて論理的に自らの考えを説述することができるか等といった観点から、出願書類と一次、二次の課題も踏まえ、面談を行う。

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	人文学科AP	哲学・宗教文化コース	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 高等学校で履修する教科のなかで、とくに国語、地理歴史、公民、外国語について教育内容を理解し、哲学、思想、宗教、文化の諸分野の専門的な学習に必要な高等学校卒業相当の知識と技能を身につけている。	● 学科・専攻・コース別課題では、本コースで勉強するための基礎となる知識を有し、それがコース課題の論述に活かされているかを評価します。	● 授業レポートでは、基礎的な語彙力や文章力を評価します。
思考・判断・表現	② ものごとを順序立てて論理的に考えることができる。 ③ 文章や口頭で、自身の考えをわかりやすく述べることができる。	● 学科・専攻・コース別課題では、課題の意図を的確に理解し、それをもとに論理的に自分の考えを記述する思考力と表現力を評価します。	● 授業レポートでは、理解力・思考力・文章表現力を評価します。 ● 個別面接では、論理的に物事を考える力、発話表現力（コミュニケーション力）を評価します。
関心・意欲・態度	④ 文化や歴史、人間の生活にかかわるさまざまな問題に対して深い関心を持っている。 ⑤ 高度な読解力や分析力を身につけることに意欲がある。 ⑥ 自らの学びを通して社会に積極的に関わっていこうとする意欲がある。 ⑦ 他者の立場に立ってものごとを考え、行動する態度を身につけている。	● 学科・専攻・コース別課題では、哲学・宗教文化に関わる課題に対して、自分の経験や知識をもとに、自分の頭で考えて記述を進めることができるかを評価します。 ● 学科・専攻・コース別課題では、日頃から文化や歴史、人間の生活に関心を持っているかを評価します。	● 個別面接では、哲学・宗教文化の学びに関する関心・意欲と、社会と関わる姿勢について評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 「人間とは何か」「幸せとは何か」「善悪とは何か」といった人間にとって根本的な問いを考えたい人
- 世界のさまざまな思想や宗教、民族、民俗文化（祭・神話・食・儀礼・妖怪等）について学び、調べてみたい人
- 歴史や倫理、人間の心に関心があり、これらを一緒に学びたい人

人文学科 国際文化コース

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学栄鴨校舎にて実施

- ① グループディスカッション（1グループ5～6名程度に編成、ディスカッションへの導入15分、ディスカッション60分）
第一次審査コース別課題をもとに、国際文化コースの教員も加わって、発展的に意見交換する。
- ② ショートエッセイ（500～600字、30分）
グループディスカッションで交した意見をもとに、あなた自身の考えをまとめる。「第一次審査 学科・専攻・コース別課題⇒ディスカッション⇒新たな考え」と考察を深める。
- ③ 個別面接

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	人文学科AP	国際文化コース	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 高等学校で履修する教科のなかで、とくに国語、地理歴史、公民、外国語について教育内容を理解し、哲学、思想、宗教、文化の諸分野の専門的な学習に必要な高等学校卒業相当の知識と技能を身につけている。	●学科・専攻・コース別課題では、本コースで勉強するための基礎となる文化的な事項や言語に関する基礎的知識を有し、それがコース課題の論述に活かされているかを評価します。	●グループディスカッションでは、基礎的な知識に裏付けられた適切な発言ができるかを評価します。 ●ショートエッセイでは、グループディスカッションから独自の見解を引き出し、それを明確に文章で述べることを評価します。
思考・判断・表現	② ものごとを順序立てて論理的に考えることができる。 ③ 文章や口頭で、自身の考えをわかりやすく述べることができる。	●学科・専攻・コース別課題では、 （1）考えが明晰であるか、（2）論理的な展開であるか、を評価します。 ●学科・専攻・コース別課題では、勉学の基礎となる文章表現力があるかを評価します。	●グループディスカッションでは、議論の流れを把握し、発展的な意見を明確に提示することができるかを評価します。 ●ショートエッセイでは、勉学の基礎となる文章表現力があるかを評価します。
関心・意欲・態度	④ 文化や歴史、人間の生活に関わる様々な問題に対して深い関心を持っている。 ⑤ 高度な読解力や分析力を身につけることに意欲がある。 ⑥ 自らの学びを通して社会に積極的に関わっていこうとする意欲がある。 ⑦ 他者の立場に立ってものごとを考え、行動する態度を身につけている。	●学科・専攻・コース別課題では、課題の趣旨を適切にとらえ、発展的な考察が示されているかを評価します。	●グループディスカッションでは、与えられたテーマに積極的に関心を示し、議論に加わることができるかを評価します。 ●グループディスカッションでは、ほかの人の発言に耳を傾け、相互に意見を発展させようとする姿勢を有しているかを評価します。 ●個別面接では、現代社会での将来構想を述べることができ、社会に貢献したいという意欲を有しているかを評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 文学、映画、音楽はもとより、ゲームやアニメーション、漫画など、幅広い文化にも関心がある人
- 探究心が強く、仲間と議論して考察を深めることも、文献を読んで知識を有機的に結びつけることも好きな人
- クロスカルチャルな視点でコミュニケーション力を身につけ、国際的に活躍したい人
- 幅広い教養も、高度な英語力も、最新の教育メソッドも備えた英語教師になりたい人
- 自由な発想で文化を論じ、それを発表するプレゼンテーション力や文章力を培いたい人

歴史学科 日本史コース

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① コース別問題（筆記試験 60分）

日本史における重要なキーワード（事件・人物など）の中から1つを選び、600字程度で論述する。

② グループ・ディスカッション（1グループ6～7人程度、60分程度）

第一次審査「学科・専攻・コース別課題」の内容について3分程度口頭で発表を行い、その後ディスカッションを行う。

③ 個別面接

歴史学科の学びと社会に対する関心についての教員からの様々な問いに答える。

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	歴史学科AP	日本史コース	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 高等学校で履修する地理歴史の内容を十分に理解している。 ② 歴史学科の学びに必要な基礎的な知識・技能を有している。	●学科・専攻・コース別課題により、日本史に関する知識や技能を持っているかを評価します。	●コース別問題および個別面接により、日本史に関する知識や技能を持っているかを評価します。
思考・判断・表現	③ 物事を順序だてて考えることができる。 ④ 多様な考え方を整理して説明することができる。	●学科・専攻・コース別課題により、自らの考えや知識を論理的に整理して表現する力を持っているかを評価します。	●コース別問題により、自らの考えや日本史に関する知識を論理的に整理して表現する力を持っているかを評価します。 ●グループ・ディスカッションおよび個別面接により、質問に対して的確に理解できるか（理解力）、自らの考えを順序だてて説明できるか（表現力・思考力）を評価します。
関心・意欲・態度	⑤ 歴史や文化に関することに幅広く深い関心を持っている。 ⑥ 読む、聞く、書く、話す能力のさらなる向上や分かりやすい表現方法の習得に意欲を持っている。 ⑦ 自らの学びを通して、地域や社会に積極的に関わっていこうとする意欲を持っている。 ⑧ 研究・調査や実習などを通じて、他者への配慮を身につけようとする意欲を持っている。	●学科・専攻・コース別課題により、日本史に対する関心の深さ、自らが興味を持つことを積極的に調べて学ぶ意欲、ならびに地域や社会に対して積極的に関わっていこうとする意欲があるかを評価します。	●個別面接により、自らが興味を持つテーマについて、古文書等を調査して積極的に学ぶ意欲、ならびに地域や社会に積極的に関わっていこうとする意欲があるかを評価します。 ●グループ・ディスカッションおよび個別面接により、歴史や文化に対する関心の深さ、学習への意欲、自発的な探究心、本学科・専攻・コースへの明確な志望動機、受け答えの態度、基本的なコミュニケーション能力を評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 日本の歴史や文化について学ぶ意欲があり、興味のあることを積極的に調べる意欲がある人
- 現代の文献ばかりでなく、古文書等の史料から歴史を調べようという意欲がある人
- 日本全体ばかりでなく、地域の歴史も調べてみようという意欲がある人
- 自らが持つ知識や考え・情報を他の人や社会に対して発信する意欲がある人
- 他の人や社会ときちんとした関わりを持つことができる人

歴史学科 東洋史コース

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① コース別問題（筆記試験 60分）

東洋史に関わる重要なキーワード（事件・人物など）の中から1つを選び、600字程度で論述する。

② グループ・ディスカッション（1グループ6～7人程度、60分程度）

第一次審査「学科・専攻・コース別課題」の内容について3分程度口頭で発表を行い、ディスカッションを行う。

③ 個別面接

歴史学科の学びと社会に対する関心についての教員からの様々な問いに答える。

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	歴史学科AP	東洋史コース	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 高等学校で履修する地理歴史の内容を十分に理解している。 ② 歴史学科の学びに必要な基礎的な知識・技能を有している。	●学科・専攻・コース別課題により、東洋史に関する知識や技能を持っているかを評価します。	●コース別問題および個別面接により、東洋史に関する知識や技能を持っているかを評価します。
思考・判断・表現	③ 物事を順序だてて考えることができる。 ④ 多様な考え方を整理して説明することができる。	●学科・専攻・コース別課題により、自らの考えや知識を論理的に整理して表現する力を持っているかを評価します。	●コース別問題により、自らの考えや東洋史に関する知識を論理的に整理して表現する力を持っているかを評価します。 ●グループ・ディスカッションおよび個別面接により、質問に対して的確に理解できるか（理解力）、自らの考えを順序だてて説明できるか（表現力・思考力）を評価します。
関心・意欲・態度	⑤ 歴史や文化に関することに幅広く深い関心を持っている。 ⑥ 読む、聞く、書く、話す能力のさらなる向上や分かりやすい表現方法の習得に意欲を持っている。 ⑦ 自らの学びを通して、地域や社会に積極的に関わっていかうとする意欲を持っている。 ⑧ 研究・調査や実習などを通じて、他者への配慮を身につけようとする意欲を持っている。	●学科・専攻・コース別課題により、東洋史に対する関心の深さ、自らが興味を持つことを積極的に調べて学ぶ意欲、ならびに地域や社会に対して積極的に関わっていかうとする意欲があるかを評価します。	●コース別問題および個別面接により、漢文史料講読や中国語学習への意欲、自らが興味を持つことを積極的に調べて学ぶ意欲、ならびに地域や社会に積極的に関わっていかうとする意欲があるかを評価します。 ●グループ・ディスカッションおよび個別面接により、歴史や文化に対する関心の深さ、学習への意欲、自発的な探究心、本学科・専攻・コースへの明確な志望動機、受け答えの態度、基本的なコミュニケーション能力を評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 中国を中心とするアジアに興味があり、興味のあることを積極的に調べる意欲がある人
- 現代の文献ばかりでなく、漢文の史料から歴史を調べようという意欲がある人
- アジアだけではなく、日本や地域との関係を考えてみようという人
- アジアの歴史を学んで得た知識と能力を現代社会に活かしたいと考える人
- 史料の分析に基づき、事実を明らかにすることが好きな人

歴史学科 文化財・考古学コース

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① コース別問題（筆記試験 60分）

文化財・考古学に関わる重要なキーワード（事件・人物など）の中から1つを選び、600字程度で論述する。

② グループ・ディスカッション（1グループ6～7人程度、60分程度）

第一次審査「学科・専攻・コース別課題」の内容を踏まえて、その時代背景や歴史的意義について3分程度口頭で発表を行い、ディスカッションを行う。

③ 個別面接

歴史学科の学びと社会に対する関心についての教員からの様々な問いに答える。

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	歴史学科AP	文化財・考古学コース	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 高等学校で履修する地理歴史の内容を十分に理解している。 ② 歴史学科の学びに必要な基礎的な知識・技能を有している。	●学科・専攻・コース別課題により、文化財・考古学に関する知識や技能を持っているかを評価します。	●コース別問題および個別面接により、文化財・考古学に関する知識や技能を持っているかを評価します。
思考・判断・表現	③ 物事を順序だてて考えることができる。 ④ 多様な考え方を整理して説明することができる。	●学科・専攻・コース別課題により、自らの考えや知識を論理的に整理して表現する力を持っているかを評価します。	●コース別問題により、文章の読解力や表現力とともに、自らの考えや知識を論理的に整理して表現する力を持っているかを評価します。 ●グループ・ディスカッションおよび個別面接により、質問に対して的確に理解できるか（理解力）、自らの考えを順序だてて説明できるか（表現力・思考力）を評価します。
関心・意欲・態度	⑤ 歴史や文化に関することに幅広く深い関心を持っている。 ⑥ 読む、聞く、書く、話す能力のさらなる向上や分かりやすい表現方法の習得に意欲を持っている。 ⑦ 自らの学びを通して、地域や社会に積極的に関わっていかうとする意欲を持っている。 ⑧ 研究・調査や実習などを通じて、他者への配慮を身につけようとする意欲を持っている。	●学科・専攻・コース別課題により、歴史や文化に対する関心の深さ、自らが興味を持つことを積極的に調べて学ぶ意欲、ならびに地域や社会に対して積極的に関わっていかうとする意欲があるかを評価します。	●コース別問題および個別面接により、歴史や文化に対する関心の深さ、自らが興味を持つことを積極的に調べて学ぶ意欲、ならびに地域や社会に積極的に関わっていかうとする意欲があるかを評価します。 ●グループ・ディスカッションおよび個別面接により、歴史や文化に対する関心の深さ、学習への意欲、自発的な探究心、本学科・専攻・コースへの明確な志望動機、受け答えの態度、基本的なコミュニケーション能力を評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 疑問を持ち、調べること、考えることが好きな人
- 日本・東洋の美術品・工芸品、原始古代の遺跡・遺物、博物館・美術館・古社寺などに関心のある人
- 美術品・工芸品、遺跡・遺物などのモノからみた歴史や文化を深く学びたい人
- 文化財や考古学を通して地域や社会と積極的に関わっていきたい人
- 博物館学芸員や埋蔵文化財専門職員を目指す人

表現文化学科

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

筆記・小論文試験（60分）

グループまたは個別面接（15分）

※筆記・小論文の内容については、過去問題をご参照ください（7月下旬公開予定）

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	表現文化学科AP	試験科目	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 学科の学びに必要な基礎的な知識を有している。 ② 高等学校で履修する国語、地理歴史、公民、外国語、数学の内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を修得している。	● 大学で学ぶ上で必要となる基礎的な知識を有し、質問の意図を理解し、自分の考えを正しい日本語で表現することができるかを評価します。（評価項目①基礎知識）	● 大学で学ぶ上で必要となる基礎的な知識を有し、質問の意図を理解し、自分の考えを正しい日本語で表現することができるかを評価します。 ● 現代社会の動向や現代の表現についての基本的な知識を有しているかを測ります。
思考・判断・表現	③ 表現文化に関連する事象に深い関心を持ち、高等学校までに学んだ知識・経験を踏まえ、自身の興味関心の有り様を、自らの言葉と視点で順序だてて説明することができる。または表現することができる。 ④ 多様な考え方を自分なりに整理し考察することができる。	● あたえられた課題に対して、（1）課題で求められている内容を正確に理解しているかどうか、（2）自身の興味関心の有り様を、自らの言葉と視点で順序立てて説明することができるか、観察力、企画構成力、表現伝達力があるかを評価します。（評価項目②企画力、③表現力、④デザイン力）	● あたえられた課題に対して、（1）課題内容を正確に読み取ることができるかどうか、（2）論理的に考える力、自分の考えを的確に論じる表現力があるか、（3）社会に関心を持ち、独自の思考を働かすことができるか、の3点を評価します。
関心・意欲・態度	⑤ クリエイターへのあこがれを持ち、表現することに強い意欲を持っている。 ⑥ 読む、書く、話す、聞く能力の向上や他者に伝わる表現方法の習得に意欲を持っている。 ⑦ 自分だけではなく他者の立場に立って物事を考え、配慮ある行動をする姿勢を持っている。 ⑧ 知識集約社会の到来をにらみ、自らの学びを通して、地域や社会に積極的に関わろうという意欲を持っている。 ⑨ 文化や歴史、現代の生活、経済、国際社会にかかわる様々な問題に対して深い関心を持っている。 ⑩ 書籍・雑誌やSNSなど多様なメディアから発信されるニュース・表現に積極的に接し、自分なりの見解を持つとうとする意欲を持っている。	● 自身の置かれた環境や現代社会の動向、現代の表現に対する、関心のレベルを測ります。（評価項目⑤社会性、⑥情報リテラシー）	● あたえられた課題を正確に理解し、他者に伝わる表現方法と意欲とを身につけているかどうか、自分の身のまわりのみに自閉せず、幅広く社会の課題に立ち向かう姿勢をもち、課題解決の能力をもっているかを問います。 ● 学科への適性のうち、専門分野に必要な関心・意欲・態度（表現意欲・専門分野に対する真剣さと知識欲をもっているか）を評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 独自の視点で物事を見る観察力、独特な発想力、作品作りに不可欠な理解力、構成力、提案力を身につけたいと思っている人
- 文章やデザインに興味があり、紙媒体やデジタルで表現したい人
- テレビ、映画、ウェブなど、映像・音声メディアが大好きな人
- エンタメ業界（音楽業界、お笑い他）におけるアートやマーケティングに関心が高い人
- 作家・クリエイター・編集者になりたい、マスコミや広報に興味があるなど「言葉」で伝える仕事に就きたい、と考えている人
- 都市空間に対する関心をもち、都市が私たちに与えてくれる「ワクワク感」の正体を突き止めたいと考えている人
- いつか、芥川賞やアカデミー賞をとってやろうという途方もない野心をいだいている人

メディア表現学科

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

ワークショップ（①・②あわせて120分）

①筆記試験

②口述試験（グループワーク、面接、プレゼンテーションなど、コースによって異なり、当日指定します）

※筆記試験の内容については、過去問題をご参照ください（7月下旬公開予定）

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	メディア表現学科AP	試験科目	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 学科での学びに必要な基礎知識を有している。 ② 高等学校の教育課程で履修する科目の内容を理解し、卒業相当の知識を修得している。	●大学で学ぶ上で必要となる基礎的な知識を有し、質問の意図を理解し、自分の考えを正しい日本語で表現することができるかを評価します。（評価項目①基礎知識）	●大学で学ぶ上で必要となる基礎的な知識を有し、質問の意図を理解し、自分の考えを正しい日本語で表現することができるかを評価します。 ●現代社会の動向や現代の表現についての基本的な知識を有しているかを測ります。
思考・判断・表現	③ 表現文化に関連する事象に深い関心を持ち、高等学校までに学んだ知識・経験を踏まえ、自身の興味関心の有様を、自らの言葉と視点で順序だてて説明することができる。または表現することができる。 ④ 多様な考え方を自分なりに整理し、考察することができる。	●あたえられた課題に対して、（1）課題で求められている内容を正確に理解しているかどうか、（2）自身の興味関心の有様を、自らの言葉と視点で順序立てて説明することができるか、観察力、企画構成力、表現伝達力があるかを評価します。（評価項目②企画力、③表現力、④デザイン力）	●あたえられた課題に対して、（1）課題内容を正確に読み取ることができるかどうか、（2）論理的に考える力、自分の考えを的確に論じる表現力があるか、（3）社会に関心をもち、独自の思考を動かすことができるか、の3点を評価します。
関心・意欲・態度	⑤ クリエイターへのあこがれを持ち、表現することに強い意欲を持っている。 ⑥ 「読む・書く・話す・聞く」能力の向上や、他者にわかりやすく伝えるための表現方法の習得に意欲を持っている。 ⑦ 自分だけではなく他者の立場に立って物事を考え、配慮ある行動をする姿勢を持っている。 ⑧ 知識集約社会の到来をにらみ、学科での知識や経験を生かし、社会や地域に積極的に貢献しようという意欲を持っている。 ⑨ 文化や歴史、現代の生活、経済、国際社会にかかわる様々な問題に対して深い関心を持っている。 ⑩ 映像、放送など多様なメディアから発信されるニュース・表現に積極的に接し、自分なりの見解を持とうとする意欲を持っている。	●自身の置かれた環境や現代社会の動向、現代の表現に対する、関心のレベルを測ります。（評価項目⑤社会性、⑥情報リテラシー）	●あたえられた課題を正確に理解し、他者に伝わる表現方法と意欲とを身につけているかどうか、自分の身のまわりのみに自閉せず、幅広く社会の課題に立ち向かう姿勢をもち、課題解決の能力をもっているかを問います。 ●学科への適性のうち、専門分野に必要な関心・意欲・態度（表現意欲・専門分野に対する真剣さと知識意欲をもっているか）を評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 独自の視点で物事を見る観察力、独特な発想力、作品作りに不可欠な理解力、構成力、提案力を身につけたい人
- テレビ・映画・展覧会作品など、映像・音声メディアでの表現を目指したい人
- 文章やデザインに興味があり、情報を適切に魅力的に伝えるウェブサイト構築を学びたい人
- エンタメ業界におけるアートやマーケティングに関心が高い人
- 「楽しい」「幸せ」などの言葉で済ますことなく、批判的な視点で作品制作を行える人
- 業界に「憧れる」だけにとどまらず業界に「必要となる人材」になろうという意志のある人
- 社会に影響を与える作品を生み出したいという野心をいだいている人

人間科学科

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① 模擬講義等（計105分）

前半：教員による講義（45分）

後半：講義の内容に基づきレポートを作成する（60分）

② 個別面接（10～15分予定）

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	人間科学科AP	試験科目	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 人間科学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において学習した基礎的な知識・技能を有している。	●学科・専攻・コース別課題では、高校生としての基本的な教養や知識を有しているかを評価します。高等学校での勉学や課外活動などにおいて、人間科学科での学修内容に適合している事項があるかどうかを総合的に判定します。	●個別面接において、人間科学科の学生に求められる積極性や協調性を備えているかどうかを評価します。あわせて、基本的なコミュニケーション能力に加え、主体的な学習意欲も審査します。
思考・判断・表現	② 物事を順序立てて考えることができる。 ③ なじみのないテーマであっても、情報を整理することによって理解し、自ら意見を述べることができる。	●学科・専攻・コース別課題では、人間科学科が必要とされる論理的思考能力を身につけているかどうかを評価します。	●レポート評価において、講義を通して得られた情報を整理しながら、自らの意見を論理的に説明することができるかどうかを評価します。 ●個別面接においては、試験官の問いに対して、筋道を立てて自らの意見を述べるかどうかを審査します。
関心・意欲・態度	④ 身近な人たち、異なる文化や価値観を持つ人々の生活や人生に多面的な関心を抱いている。 ⑤ 家族や学校、地域、職場で生じている問題や、文化・環境・メディアなどのあり方に関心を抱いている。	●学科・専攻・コース別課題とともに出願書類もあわせ、志望理由が人間科学科で学べる内容と合致しているかを判断し、学びたい目的が明確であるかどうか、入学後の意欲が高いかどうかの観点から総合的に判定します。	●個別面接においては、人間科学科で学べる内容についての知的好奇心や明確な志望動機を審査します。人間科学科で取り扱うテーマに対して興味・関心が高いかどうかを判定します。

こんなあなたに学んでほしい

- 現代社会で暮らす人々の生活や生命、生涯を多角的・複眼的に理解したいという人
- 現代社会において人々が抱える課題を社会的・心理学的・身体科学的アプローチで解き明かしたいと考える人
- 仮説設定、データ収集、量的分析・質的分析、考察といった科学的根拠に基づいた研究に関心がある人

社会福祉学科

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① グループ・ディスカッション（1グループ5名程度、60分）

第一次審査「学科・専攻・コース別課題」の内容を踏まえ、各自簡潔に3分程度で発表し、そこから共通テーマを見つけ、ディスカッションする。

② グループ・ディスカッションの振り返りレポート作成（400字程度、30分）

③ 個別面接

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	社会福祉学科AP	試験科目	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 社会福祉学科の学びに必要な基礎的な知識を有している。 ② 高等学校で履修する国語・地理歴史・公民・外国語について内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。 ③ 課題を的確に理解し、その解決のために必要な情報を集めることができる。	●学科・専攻・コース別課題では、読解力、表現力、および調べる力について評価します。	●グループ・ディスカッションでは、課題を的確に理解する能力と表現・伝達する能力を評価します。 ●ディスカッションの振り返りレポートでは、まとめる力と総合的な思考力を評価します。 ●個別面接では、基礎学力を確認します。
思考・判断・表現	④ 物事を順序立てて考えることができる。 ⑤ 多様な考え方を自分なりに整理し考察することができる。 ⑥ 自分の考えを口頭や文章でわかりやすく伝えることができる。 ⑦ 多様な考えや価値観を受け入れ、尊重することができる。	●学科・専攻・コース別課題では、問題の発見・把握能力に加え、物事を多面的にとらえて総合的に思考し、それを的確に表現する能力について評価します。	●グループ・ディスカッションでは、論理的な思考能力とコミュニケーション能力を評価します。 ●ディスカッションの振り返りレポートでは、多様な人々の価値観を受け止め、かつ自分自身のことを率直に振り返り、まとめる力と総合的な思考力を評価します。
関心・意欲・態度	⑧ 文化や歴史、人間の生活にかかわる様々な問題に対して、深い関心を持っている。 ⑨ 自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わっていこうとする意欲を持っている。 ⑩ 読む、書く、話す、聞く能力の向上と、わかりやすい表現方法の習得に意欲をもっている。 ⑪ 他人の立場に立って物事を考え、行動する態度を有している。 ⑫ 人と心を通わせ、協力して目標を達成する姿勢を有している。	●社会福祉への関心、ウェルビーイング実現への意欲、社会福祉士・精神保健福祉士になることへの意欲、主体的な学習意欲と協調性、および本学科で学ぶ目的意識の明確さについて評価します。	●グループ・ディスカッションでは、社会福祉に対する関心度、論理的な思考能力、およびコミュニケーション能力を評価します。 ●ディスカッションの振り返りレポートでは、他者の発言を聞く能力と分かりやすく書く能力を評価します。 ●個別面接では、本学科で学ぶ目的意識の明確さ、人と地域社会に関わっていこうとする意欲と態度、学問に対する熱意と積極性、人間性、行動力、視野の広さを評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 社会福祉士・精神保健福祉士を目指す人
- 社会福祉学の価値・知識・技術を理解し、人と社会への支援に活用するため、日々の成果を蓄積しようとする人
- 地域社会や身近な場所で生じる問題を発見し、その解決方法を考えることで、ウェルビーイングな社会づくりのために、現状の改善を図りたいという意欲がある人
- 人と心を通わせ協力して目標を達成する意欲を持つ人

臨床心理学科

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

- ① 課題についてのレポート作成（45分）
- ② グループディスカッション（1グループ6名程度、30分）
- ③ ディスカッションの振り返りレポート作成（20分）
- ④ 個別面接

※臨床心理学科では、個別の課題に取り組んだあとで、それをもとにグループでのディスカッションを行います。さらにグループでの自分の体験についての振り返りを個別に行います。

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	臨床心理学科AP	試験科目	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 臨床心理学部の教育内容を理解するために必要となる高等学校卒業相当の知識・技能を修得しており、高等教育を受けることができる学力が備わっている。 ② 高等学校での学習や諸活動において課題や困難に向き合い、解決のための試行錯誤を通して得た経験を有している。	●学科・専攻・コース別課題では、基礎的な知識や理解力を評価します。	●課題についてのレポート作成では、文章の読解力とデータなどを基にした論理的思考力を求めます。 ●個別面接では、基礎学力を確認します。
思考・判断・表現	③ 高等学校までに得た知識・経験を臨床心理学部の学びに結びつけて説明することができる。 ④ 自身の興味関心について、自らの視点と言葉で順序立てて説明することができる。	●学科・専攻・コース別課題では、課題をきちんと理解し、それをもとに論理的に自分の考えを記述するための思考力と表現力を評価します。	●課題についてのレポート作成では、社会の事柄についての関心度、自分の考えを論理的に説明し記述する能力を評価します。 ●グループディスカッションではコミュニケーション力を確認します。
関心・意欲・態度	⑤ 新たな知識や他者の意見に触れることに喜びを感じることができる。 ⑥ 価値の多様性に触れたとき、自らの意見を見直す開かれた姿勢をもっている。 ⑦ 社会の様々な事象を自らの問題として捉え、他者と協力して積極的に課題解決する意欲をもっている。	●学科・専攻・コース別課題において、自分の経験や知識に基づいて記述できるかを評価し、日ごろから社会や人々の生活や思いに関心を持っているかを評価します。	●グループディスカッションでは、他者の意見に耳を傾け理解しようとする姿勢を評価します。 ●ディスカッション後の振り返りレポートを通して、自分を客観的にとらえる力を評価します。 ●個別面接では、臨床心理学を学ぶことへの意欲、人や社会と関わることへの態度、そして学ぶことへの積極性を評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 人々の暮らしや思いに関心を向け、臨床心理学を学ぶ意欲のある人
- 多様な個性や価値観を尊重できる人
- 他者の意見を取り入れながら、さらに自分の考えを深められる人
- 人と協力して一緒に様々な活動に取り組める協調性のある人
- 臨床心理学部で学んだことを、将来社会の中で活かしたいと思う人

地域創生学科

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

- ① グループ・ディスカッション（1グループ5～6名程度・60分）×2
 - ・ディスカッションの冒頭で指定した資料・データの読解と解釈（20分）
 - ・上記の資料・データの読解と解釈にもとづいたディスカッション（40分）
- ② 個別面接

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	地域創生学科AP	試験科目	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 地域創生に関する学問領域を学修するために、必要な基礎学力や実技能力を身につけている。 ② 高等学校で履修する国語・英語・地理歴史・公民・数学について、高等学校卒業相当の知識を有している。	●学科・専攻・コース別課題にもとづいて、地域創生に関する学問領域を学修するために必要な基礎学力やその活用能力を評価します。	●グループ・ディスカッションの冒頭で提示した資料・データに対する読解力や解釈力にもとづいて、地域創生に関する学問領域を学修するための基礎能力を評価します。 ●グループ・ディスカッションにおける発言内容と個別面接時の応答で、第一次審査にもとづいて評価した知識・技能が実際に備わっているかどうかを評価します。
思考・判断・表現	③ ものごとの課題を解決する道筋を、深く考えることができる。 ④ 自らの意見を口頭や文章で順序立てて伝えることができる。	●学科・専攻・コース別課題にもとづいて、論理的な思考能力と文章表現能力を評価します。	●グループ・ディスカッションにおける発言内容と個別面接時の応答で、自分の意見を他人とのコミュニケーションの中で論理的に表現できるかどうかを評価します。
関心・意欲・態度	⑤ 地域社会に対して深い興味と関心を持ち、地域創生や地域活性化のために貢献していこうとする強い意欲を持っている。 ⑥ 地域創生に向けて、他者との協働によって目標を達成しようとする姿勢を持っている。	●学科・専攻・コース別課題にもとづいて、地域創生や地域活性化に対する意欲と関心を評価します。 ●学科・専攻・コース別課題にもとづいて、地域創生学科で育成する人材像（DP⑩他者と共に目標を達成することの意義を理解し、コミュニケーションを通じて相互理解や合意形成を実現しようとする姿勢）を意識した学習意欲を評価します。	●個別面接で、第一次審査にもとづいて評価した学習態度や集団での学修に向けた意欲、計画的な学修姿勢に関して対面で再確認し、評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 地域の多様なニーズに応えながら、地域創生や地域振興の一翼を担う人材になりたいと思っている人
- 経済学を中心として経営学・社会学などの知識を学び、その知識を地域で実践的に活用して行動したいと思っている人
- 地域において他者と協力して物事を成し遂げることに意義と喜びを感じられる人
- 異なる意見や考えを持つ人と積極的にコミュニケーションをとり、合意形成を行う姿勢を持つことができる人

公共政策学科

試験科目

第一次審査：書類審査

学科・専攻・コース別課題

第二次審査：大正大学巣鴨校舎にて実施

① グループ・ディスカッション（1グループ4～5名程度、60分）

第一次審査「学科・専攻・コース別課題」の内容に関して、グループで話し合い、グループ内の検討結果をまとめる。

② 個別面接

試験科目とアドミッションポリシーとの関係性

	公共政策学科AP	試験科目	
		第一次審査	第二次審査
知識・技能	① 国語、英語、地理歴史・公民、数学等の各教科科目について、高等学校卒業相当の知識を身につけており、高等教育を受けることができる学力が備わっている。	●以下の3点を評価します。 (1) 出題の意図を理解しているか (2) 誤字脱字、文章表現上の誤りがないか (3) 分かりやすく、伝わりやすい文章か	●グループ・ディスカッションでは、一般常識や教養を持ち合わせているかを評価します。 ●個別面接では、基礎学力を評価します。
思考・判断・表現	② 自ら問いを立て、課題を解決していくための道筋を深く考えることができる。 ③ 意見や価値観の異なる人々の考えと自らのその違いを客観的に表現することができる。	●着眼点、問題の抽出、簡潔な文章表現力について確認します。	●グループ・ディスカッションでは、 (1) 自ら課題解決に向けた道筋を立てて発言しているか (2) 他者の話を傾聴し、理解をした上で発言しているかを評価します。 ●個別面接では、自分の考えを分かりやすく説明できるかを評価します。
関心・意欲・態度	④ 社会や地域の公共政策上の課題に対して深い関心を持ち、公共政策を担う人材となることに強い意欲を持っている。 ⑤ 地域の課題解決に向けて、他者との協働によって目標を達成しようとする姿勢を持っている。	●以下の3点を評価します。 (1) 社会や地域の公共政策上の課題に深い関心を持っているか (2) 課題解決策の検討に向けて自ら情報収集を行っているか (3) 論理的な思考に従い文章を記述しているか	●個別面接では、質疑の際に、社会課題に対する関心や貢献意欲を評価します。 ●グループ・ディスカッションでは、メンバーと協働しながら解決の方向を見出していこうとする意欲と姿勢を評価します。

こんなあなたに学んでほしい

- 故郷や住んでいる街をもっとよくするために力を尽くしたい人
- 社会の問題から目をそらさず、自らの問題として考えられる人
- 自分や家族、友人だけでなく、多くの人が暮らしやすい世の中にしたいと思っている人
- 仲間と力を合わせ、何かを成し遂げることが好きな人
- 社会の様々な問題を解決するための力をつけたいと考えている人
- 気になることを調べたり、考えたりすることが好きな人

出願書類一覧

■ 出願書類

No.	出願書類	注意事項等
①	志願票	・ パソコン上で必要事項を入力し、検定料納入後に各自で印刷してください。 検定料：30,000円
②	高等学校調査書	・ 文部科学省指定の様式により、出身高等学校で作成した大学受験に用いる調査書で「学習成績の状況欄」「学習成績概評」が記載されたもの。 ※発行責任者が厳封したもの。 ※2025年3月卒業見込の者は、最終学年1学期（2学期制の場合には前期、前期の成績を記載できない2学期制の高等学校の場合には、その旨が調査書備考欄に記載されていること）までの成績が記載されたものを提出してください。
③	I セルフポートレート	I－1：高等学校入学後から出願に至るまでの期間における活動について、あなたが特に力を入れたことを自由に記入してください。 <u>証明する書類があれば一緒に提出してください（A4サイズ・コピー可・片面印刷）。</u> ※提出書類は返還しないので注意してください。 I－2：特にアピールしたいこれまでの取り組み I－1に記入した活動の中から1つを選び、具体的な内容を記入してください。
	II 志望理由	大正大学への志望理由を記入してください。
	III 大学での学びの目標と計画	志望理由をもとに目標を記入してください。
④	学科・専攻・コース別課題	「総合型選抜第一次審査課題集」をよく読み、所定の用紙に記入のうえ、提出してください。

- 提出書類は、必ず黒のボールペンまたは万年筆で記入してください。
※誤って記入した場合は、黒の二重線で消して黒字で訂正してください（訂正印不要）。
※鉛筆や消えるゲルインキボールペンでの記入は認められません。
- 提出された書類および検定料は、原則返還いたしません。
- 出願書類に不備や不足があった場合は、受験を認めない場合があります。送付前に必ず確認をしてください。
- 市販の角2封筒に、志願票と一緒に印刷される宛名ラベルを貼り、上記出願書類①～④を封入して、「簡易書留」「速達」で郵送してください（詳細は、27頁参照）。

出願等に関する注意事項

- ・ 出願の際には、書類に不備がないか、よく確認してください。
- ・ 出願書類を受理した証明書等は発行いたしません。
- ・ 一旦納入された検定料および書類は、原則返還いたしません。また、他の試験へ検定料を変更することもできません。
- ・ 出願は戸籍上の氏名を使用してください。出願書類の氏名が志願票と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。
- ・ 健康診断書を提出する必要はありません。
- ・ 出願書類に不備や不足があった場合は、受験を認めない場合があります。

身体等に障がいのある受験生は、出願期間の1カ月前までにアドミッションセンターにご相談ください。受験時の配慮および入学後の修学について、事前面談を行います。入学試験において特別措置が必要な場合は、事前に申請書類等を提出していただきます。

なお、志望学科・専攻・コースの特性と個々の障がいの内容によっては、充分に対応できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

第二次審査に関する注意事項

1. 第二次審査当日は、午前8時30分より試験場に入場できます。試験場に入るときは、入口において「受験票」を呈示してください。なお、巣鴨校舎の入口は正門のみです。
 2. 「受験票A・B」を持参しない者は、試験場に入場することはできません。
 3. 試験当日に「受験票」を忘れたり、紛失した者は、入場の際に係員に申し出て再交付を受けてください。
 4. 「受験票B」は、試験場では常に机の上に置いてください。
 5. 受験生は、試験開始40分前までに指定された席に着席しててください。また、試験開始時までには筆記用具の使用を認めません。
 6. 試験室は、試験当日会場において案内します。
 7. 遅刻者は、試験開始20分以後は特別の事情がない限り受験できません。
 8. 試験当日、交通機関の遅延があっても試験は予定通り行いますので、十分注意してください。
 9. 試験場においては、監督者の指示に従ってください。
 10. 試験中、スマートフォン、携帯電話等の電源は必ず切り、試験監督の指示に従ってください。時計としての使用も認めません。また、多機能付時計も使用できないので注意してください。
 11. 受験生の付添人は、試験場内には入れません。
 12. 「受験票B」は、合格発表その他の際に必要なので大切に保管してください。
 13. 昼食が必要な受験生は、各自で用意してください（学内での販売はいたしません）。
- 天候不順等により、試験開始時間の繰り下げなどの措置をとる場合、本学ホームページにてお知らせします。

受験票について

受験票は、出願時に登録いただいた「大正大学マイページ」の「オンライン受験票」から確認できます。

- 別途受験票等の郵送はいたしません。
- 合格発表および第二次審査の際に必要となりますので、下記の利用期間内に受験票A・Bを印刷し、第二次審査当日は、必ず持参してください。

■ **利用期間**：2024年10月8日(火) 9:00 ～ 2025年3月31日(月) 23:59

■ アクセス方法

大正大学受験生応援サイト「ココカラ」からアクセスできます。

URL： <https://kokokara.tais.ac.jp/>



合格発表について

■ 発表方法

合格発表は、インターネット上で行います。詳細については下記をご確認ください。

- 出願時に登録いただいた「大正大学マイページ」の「合否照会」から確認できます。
- 学内掲示は行いません。
- 電話等による合否に関する問い合わせは、間違いが生じやすいので一切応じません。
- 本学では、合否電報、合否メールなどの取り扱いは行いません。駅、試験場付近で私設業者が出ている場合がありますが、その業者との間のトラブルについては本学は一切責任を負いません。大学の職員を装って呼び込みをしている可能性もありますので、十分に注意してください。

① 第一次審査

オンライン合格発表時の注意事項を確認してください。

② 第二次審査

第二次審査合格者は、「大正大学マイページ」の「手続書類等の取得」から『合格通知書』を確認できます。別途郵送はいたしませんので、必要に応じてダウンロードのうえ印刷してください。

オンライン合格発表について

■ **利用期間**：2024年11月1日(金) 14:00 ～ 11月11日(月) 23:59

■ アクセス方法

大正大学受験生応援サイト「ココカラ」からアクセスできます。

URL： <https://kokokara.tais.ac.jp/>



入学手続について

本学の入学手続は、出願時に登録いただいた「大正大学マイページ」を使用します。

入学手続を完了するためには、

- ①入学手続時納付金の振込
- ②「大正大学マイページ」から必要事項の登録
- ③入学手続書類の提出

の3つをもって完了します。

■入学手続方法

1. 合格者への入学手続書類の郵送は行いません。ホームページに掲載する「2025年度入学手続要項」を確認してください。
2. 入学手続に必要な学費等については、入学金のみで一旦手続をすることができます。
3. 「入学金のみ」で入学手続した場合は、残りの授業料等を「授業料等納入期限」までに納入してください。

※詳細は、ホームページに掲載する「2025年度入学手続要項」を参照してください。

■入学手続に必要な学費等（2025年度入学者）

学部名	学科名	入学金 ※1	授業料 ※2	施設設備費 ※2	父母会費	鴨台会 (同窓会)費	初年度納付金 合計
仏教学部	仏教学科	200,000	950,000	250,000	5,000	7,500	1,412,500
文学部	日本文学科						
	人文学科						
	歴史学科						
臨床心理学部	臨床心理学科						
人間学部	人間科学科						
表現学部	表現文化学科		1,000,000				1,462,500
	メディア表現学科						
人間学部	社会福祉学科						
地域創生学部	地域創生学科						
	公共政策学科						

※1 入学金は初年度のみです。

※2 授業料および施設設備費は、分割納入が可能です。

入学準備学習について

■入学準備学習とは

合格してから入学するまでの11月から3月までの5ヵ月間、高校生から大学生となる準備学習を行う総合型選抜合格者を対象とした特別プログラムです。

このプログラムを通して、大学生として講義やゼミに参加するために必要な力を身につけてもらいます。この基礎的な力が自信となり、高校生から大学生への円滑な移行を目指します。

■実施内容

高校までに身につけてきた基礎学力を確認・強化するプログラムや、高校までに身につけてきた思考力・判断力・表現力をブラッシュアップするプログラムを実施し、大学で学ぶ意欲を高めます。
※詳細は、別途合格者へお知らせします。

入学準備学習は、合格者のみなさんと大学との双方向のやり取りで進めます。あなたが進学する学科・専攻・コースの教職員との最初のコミュニケーションの場です。コミュニケーションにおいて、ファーストインプレッションはとても大切です。丁寧に取り組んでください。

入学準備学習は、すべての課題を修了することが**必須**となります。**課題が未提出の場合は、入学を取り消すこともあります**。必ず提出しましょう。

感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。なお、この場合下記の通り連絡してください。

「自己推薦入試」もしくは「大学入学共通テスト利用入試」への振替え、または受験料の返還をもって対応いたします。追試験の実施はありませんので、ご了承ください。試験当日までの体調管理については、十分に注意してください。

■連絡方法

○連絡先

大正大学アドミッションセンター TEL03-5394-3024

○受付期間

第二次審査3日前*から審査当日午前9時まで *受付時間10時～17時

○連絡内容

氏名、受験番号、具体的な症状

○その他

症状により、医師の診断書など症状を証明する書類の提出を求めます。

奨学金について（2024年度参考）

本学には、入学後の学業成績が優秀で、修学意欲があり、将来に期待できる者を対象とした「大正大学人材育成奨学金制度」があります。

対象者：新1年生 給付金額：20万円【給付型】 審査方法：書類審査、面接審査

採用者：若干名 応募条件：1年生第1クォーター・第2クォーターの成績がGPA3.0以上

※応募条件を満たす対象者には、別途ご案内いたします。

※詳細は、入学後、学生支援部（1号館1階）までお問い合わせください。

オープンキャンパス（事前予約制）

7月27日(土) 10:00～15:00

「総合型選抜トークライブ（合格者体験談）」

8月17日(土) 10:00～15:00

「学科別総合型選抜対策講座」

大正大学の総合型選抜をより理解する場として、オープンキャンパスを開催します。

「総合型選抜トークライブ（合格者体験談）」では、昨年度、総合型選抜で合格した学生たちが、昨年の今頃どのように過ごしていたのか、どのように課題に取り組んでいたかなどの体験談をお話しします。

「学科別総合型選抜対策講座」では、学科別に総合型選抜の概要、出題意図、求める人材像などについて解説します。

その他、面接対策、出題書類のポイント説明などのプログラムも展開しますので、試験対策の機会として、ぜひご参加ください。

内容：

- 総合型選抜トークライブ（合格者体験談）
- 学科別総合型選抜説明
- 面接対策講座
- 出願書類対策講座 など

※上記プログラムは、いずれも自由参加です。出欠が合否判定に影響することはありません。

※オープンキャンパスに参加するには、事前の参加予約が必須です。

参加予約は、受験生応援サイト「ココカラ」の中の「ココカラプラス」で行っています。「ココカラ」へアクセスし、まずは会員登録をお願いします。

注）最新情報は、受験生応援サイト「ココカラ」をご確認ください。

URL： <https://kokokara.tais.ac.jp/>



ネット出願の流れ



Step.0 学生募集要項の確認

出願にあたっては、事前準備として、選抜ごとの学生募集要項から出願期間等の日程・必要な出願書類を確認してください。



Step.1 出願に向けた環境の準備

●インターネット環境

インターネットに接続されたパソコンを用意してください。

※スマートフォンやタブレット端末では、インターネット出願が完了できない場合があります。

利用環境が安定しているパソコンでの出願を推奨します。

●顔写真データ

出願時にデータをアップロードしてください。顔写真データの詳細はマイページから確認してください。

●プリンター

郵送用宛名ラベルの印刷、志願票・受験票の印刷（A4サイズ）に必要です。

●郵送する必要書類の準備

入試方式ごとに必要な書類が異なります。必ず学生募集要項を確認してください。

●メールアドレスの準備

ネット出願サイトの「マイページ」の登録に必要です。受験終了まで利用するため、日常的に確認できるメールアドレスを登録してください。

※携帯メールをご利用の場合、メールの「受信拒否設定」を解除、または「tais.ac.jp」ドメインを「受信許可」にしてください。

※iCloudなどのクラウドサービスの場合、容量オーバーで受信できない場合があります。お使いのクラウドサービスの利用状況をご確認いただくか、Gmailなどのフリーメールサービスの利用を推奨します。



Step.2 出願登録

①ネット出願サイトにユーザー登録後「マイページ」から出願内容の登録・確認を行う。

ネット出願サイトの「マイページ」にアクセスし、画面の指示に従って入力してください。

②出願内容の登録および入学検定料の支払い。

出願する入試方式を選択し、画面の指示に従って出願内容、個人情報の入力、顔写真データの登録をしてください。

大正大学 ネット出願
ようこそ、大正太郎さん。 (マイページID: 294872) ログアウトする

TOPページ 全体の流れ 学生募集要項 準備 質問・問合せ 支払い方法 大学HP

プリンターを持っていない方は、こちらをご覧ください

マイページ

▼ 次の流れにしたがって進んでください。

ボタンをクリックすると各機能が利用できます。灰色ボタンの機能は利用可能になるとなります。

1. 出願登録をする

2. 志願票の印刷・出願内容確認

3. 受験票を印刷する

●参考：インターネット出願サイトの画面イメージ「マイページ」では、出願履歴の確認や合否確認、入学に関する手続きなどが行えます。



Step.3 入学検定料のお支払い

「すべての情報の確認および入学検定料支払い窓口の選択」画面にて、登録内容を確認いただき、「入学検定料支払い窓口の選択」から支払い方法を選択し、入学検定料を納入してください。出願登録完了後に「確認メール」が届きます。お支払い情報が記載されているため、必ず確認してください。

出願登録完了時に決済



クレジットカード



●クレジットカードの支払いは、出願登録完了と同時に決済となります。

●入学検定料は原則返還できません。お支払い前に、入力内容に間違いがないか必ずご確認ください。

出願登録完了後店舗でお支払い



コンビニエンスストア



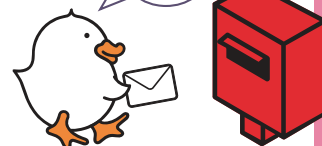
※コンビニ設置のATMはご利用できません (pay-easy対応ATMを除く)。
※コンビニでは現金のみの取り扱いとなります。
※pay-easyの利用可能な銀行は、ネット出願サイトで確認してください。



銀行ATM (ペイジー)



あとは
郵送するだけ



Step.4 志願票・出願書類の郵送

「ネット出願サイトのマイページ」から「志願票」「宛名ラベル (A4サイズ)」を印刷し、市販の角2封筒 (角形2号) に宛名ラベルを貼り、「志願票」を含めた出願書類を入れ、出願期間内に「簡易書留速達」で郵送してください。(出願締切日必着)

※用意する出願書類は、入試方式ごとに異なります。必ず学生募集要項を確認してください。提出書類に不備があると、受験できない場合があります。

※出願期間は、学生募集要項を確認してください。

出願登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送することで、出願が完了します！

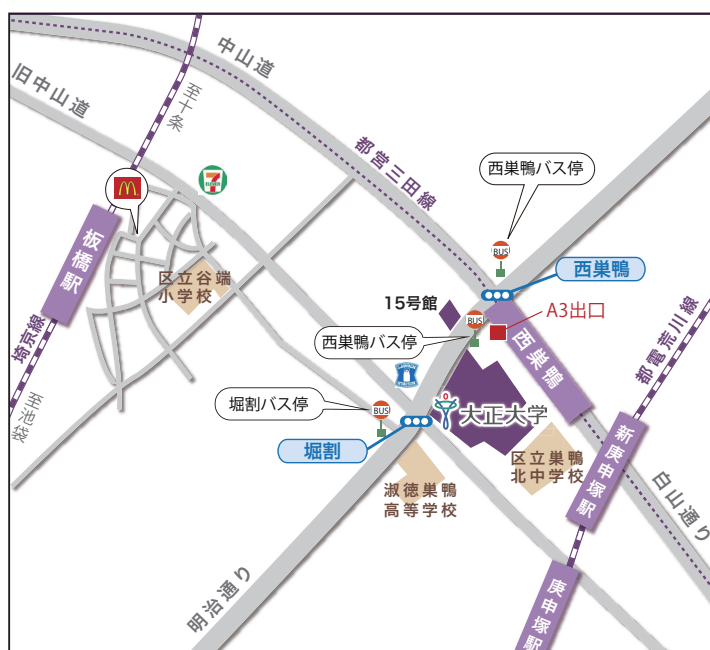


Step.5 受験票の発行・確認・印刷

「ネット出願サイトのマイページ」から受験票を確認、印刷できるようになります。試験内容や試験会場など、記載に間違いがないか必ず確認し、試験当日に持参してください。※「受験票」の郵送はありません。

「受験票」の発行期間については、入試方式ごとの学生募集要項から確認してください。

アクセスマップ



〈JR〉

- ・「池袋駅」下車。
池袋駅東口から、都営バス（浅草雷門行／西新井駅行／新田一丁目行）で、「堀割」あるいは「西巣鴨（大正大学前）」下車徒歩2分
- ・「板橋駅」下車徒歩10分
- ・「巣鴨駅」下車。
都営地下鉄三田線（西高島平行）に乗り換え、「西巣鴨駅」A3出口下車徒歩2分
- ・「王子駅」下車。
都営バス（池袋駅東口行）で、「西巣鴨（大正大学前）」下車徒歩1分

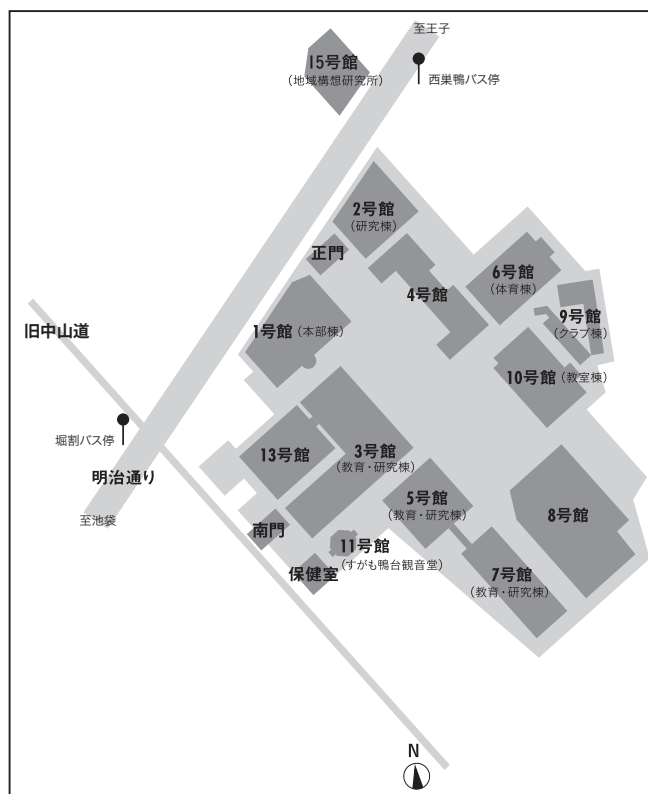
〈地下鉄〉

- ・都営地下鉄三田線（目黒－西高島平）
「西巣鴨駅」A3出口下車徒歩2分

〈都電〉

- ・都電荒川線（早稲田－三ノ輪橋）
「新庚申塚駅」下車徒歩7分

大正大学巣鴨校舎配置図





■受験生の個人情報の取扱について

受験生の皆さんの個人情報については厳重に管理し、入学試験の出願から実施および合格発表、学籍発生までの入学手続き作業、ならびに本学における学生生活の開始にあたり大学が必要と判断した情報を提供する目的に利用します。

これらの利用目的の達成に必要な範囲内において個人データの取扱いの一部を外部業者に委託することに伴って個人データが提供されることがありますが、それ以外に、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。

〈出願に関する問合せ〉

大正大学 アドミッションセンター

電話 03-3918-7311(代)

※事務取扱時間

月～金 10:00～17:00(土曜・日曜・祝日は休業)